シラバス参照

環境と持続可能な経済発展('24)

Environmental Economics for Sustainable Development('24)

主任講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

【講義概要】

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標は世界共通の目的となっている。持続可能な開発目標は、自然環境や資源の持続可能性という観点で環境問題と強いつながりがある。本講義では、同目標が環境問題や地域の経済発展に与える影響について経済学の視点から解説する。

【授業の目標】

国連の持続可能な開発目標について、環境問題等の従来の社会問題との関連を意識しながら、経済学の観点から考えることができるようになる。

【履修上の留意点】

特になし

※この科目は、社会と産業コース開設科目ですが、自然と環境コースで共用科目となっています。

各回のテーマと授業内容

第1回 持続可能な開発について

持続可能な開発の概念について、環境問題の歴史から振り返って解説する。国際的な環境問題の深刻化により、持続可能性が注目されるようになった。その過程で、貧困解決や教育・ジェンダーなど幅広い概念を含むようになった。

【キーワード】

持続可能な開発、地球サミット、環境問題の歴史

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第2回 地球の限界と閾値

環境汚染は一定水準に到達しなければ、環境負荷として顕在化しない。過去、公害・環境問題の危険性を指摘する人や団体がいたが、実際に人類の大半が認識するほどの環境負荷は顕在化していない。一方で、これらの環境負荷を定量化し、危険水準に到達している可能性があることを指摘する研究が現れてきている。こうした研究のもとで、貧困削減を中心に意識した国連のミレニアム開発目標(MDGs)、持続可能な開発目標(SDGs)が設定され取り組まれている。

【キーワード】

ローマクラブ、閾値、プラネタリーバウンダリー、MDGs

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第3回 SDGsの目標

国連持続可能な開発目標(SDGs)について、歴史・背景を含めて解説する。SDGsの各目標について、策定時と本書執筆時点での目標に関連する世界の状況を解説することを心がけた。SDGs合意当時と現在の世界の状況を概観することができる。

【キーワード】

SDGs、SDGsの目標

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第4回 環境問題を経済学で分析する

経済学は希少資源を最適に管理しながら社会厚生を最大化する。環境資源が希少な資源であると認識されるようになったことで、環境問題の解決も経済学の課題となった。

【キーワード】

経済学、割引、市場の失敗、外部性、公共財

メディア	ラジオ
放送時間	2024年度[第1学期](日曜) 12:45~13:30
単位認定試験提出方法	Web
単位認定試験期間	2024/07/14 09:00 ~ 2024/07/22 17:00
学習センター試験日/時間	2024/07/18 1時限 (09:15~10:05)
学部・院	教養学部
科目区分	('24カリ) コース科目 専門科目 社会と産業
科目コード	1539485
ナンバリング	320
単位数	2単位
単位認定試験平均点	
インターネット配信	あり
改訂回	なし
改訂内容	
履修制限	

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第5回 市場を正常にする

市場の失敗が生じている状態で、国や自治体はどのような対策を取ることができるのだろうか。さまざまな汚染物質削減方法について紹介する。

【キーワード】

市場の失敗、環境税、課徴金、排出許可証制度

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第6回 持続可能な発展と経済学

持続可能な発展を実現することに対して、経済学ができる貢献について紹介する。経済学における持続可能性のモデルについて紹介する。持続可能性のような長期的意思決定において重要な不確実性下の意思決定についても解説する。

【キーワード】

持続可能な開発、持続可能性モデル、不確実性下の意思決定

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第7回 イノベーション

イノベーションにより、人々の暮らしを変えていくことで持続可能な社会づくりが進むと期待されている。イノベーションは新技術の発明だけではなく、既存技術の組み合わせ、普及方法などの革新も含む広い概念である。近年は、技術だけではなく政策分野におけるイノベーションも期待されており、日本政府も積極的に取り組んでいる。

【キーワード】

イノベーション、発明、無消費、政策イノベーション

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第8回 貧困・飢餓・不平等

途上国における貧困撲滅と先進国の都市の貧困を解説する。貧困がうまれる原因とそれが固定化し、抜け出しにくくなる構造について解説する。こどもの貧困については格差の相続の観点も重要である。

【キーワード】

豊かさ、貧困指標、ワーキングプア、ジニ係数、こどもの貧困

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第9回 教育と労働

貧困を解決するためには、人々が社会で生きていけるスキルを身につけることと、スキルを活かせる場を作ることが必要である。教育は、国の生産性を向上することと、個人の所得を向上し自己実現の能力を高めるという二つの意義が期待されている。労働は人々がスキルを活かす場であるが、技術発展のなかで職を得ても十分に生きていけない状況も生まれている。

【キーワード】

教育、リスキリング、ラッドライト運動、ディーセント・ワーク

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第10回 消費者の役割

持続可能な消費形態を実現するためには、生産者と消費者双方の取り組みが必要であるため、「つくる責任・つかう責任」と解説される。消費者に対しては、持続可能なライフスタイルに関する意識を持つよう求められている。近年では生産者と消費者の対等な取引というフェアトレードが注目されるようになってきている。

【キーワード】

消費者運動、フェアトレード、エシカルコンシューマー、エコラベル

執筆担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)
 放送担当講師名: 坂田 裕輔(近畿大学教授)

第11回 企業・NGOの取り組みとその評価

SDGsは公的機関だけが取り組むものではないのは当然である。企業は生産・販売段階において、社会的責任を果たすことが求められている。また、社会課題の解決を企業の目的とする社会企業も生まれ始めている。市民も市民団体を通じた活動の他、個人としての社会責任を果たすことができる。

【キーワード】

CSR、コーズ・リレーティッド・マーケティング、ESG投資、社会企業

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)
放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第12回 資源の制約:水・衛生・エネルギー・資源

資源の過剰利用によって資源が枯渇する問題は、現在枯渇性資源・再生可能資源を問わず、深刻な問題である。そこで、本章では資源の枯渇状況を原油を取り上げて紹介する。さらに、枯渇性資源の枯渇を避けるために考える資源の有効利用や代替技術の開発・利用について解説する。

【キーワード】

枯渇性資源、再生可能資源、資源生産性、バックストップ技術

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)
放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第13回 インフラ・都市・産業化

人が居住できる環境として、インフラ整備・都市経営・産業化が求められている。まずは世界中の人々に十分なインフラを行き渡らせることについて紹介する。都市については都市の成長・衰退・再生のプロセスと影響を理解することが必要である。最後の産業については、製造業を事例に解説する。

【キーワード】

都市化、都市の盛衰、都市への人口集中、インフラ整備

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)
放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第14回 生物多様性と生態系サービス

生態系サービスを供給する財として海洋・陸の生態系の重要性が近年指摘されている。このような財を守り育てるために、国際社会で行われている取り組みについて紹介する。

【キーワード】

生態系サービス、生物多様性、生物多様性条約、結合生産

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)
放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

第15回 気候変動

気候変動問題について科学的な知見の共有状況と政策動向を中心に解説した。気候変動問題を含めた環境問題においては、科学的な不確実性が存在する。それでも対策を進めなければ手遅れになってしまう可能性があるため、国際社会は不確実な状況のなかで政策決定を行う。気候変動について、未知の情報に出会った際に自ら評価し判断できるようになることをめざす。

【キーワード】

気候変動、緩和策、適応策、ネットゼロ

執筆担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)
放送担当講師名:坂田 裕輔(近畿大学教授)

[戻る](#)